

なぜ人工衛星を打ち上げるの？  
 どんな仕事をしているの？  
 私たちの暮らしに役立っているってホント？  
 人工衛星が地球を救うって!?

明日の天気予報が雨って聞くと、ブルーな気分になりますよね。  
 「春の長雨」と言うように、春は高気圧が北にかたよるので雨がよく降ります。  
 そして、大雨や洪水、台風など、雨は時に大きな被害を残してしまうことも…。  
 世界ではいろいろな問題が起こっているけれど、雨って嫌なことばかりなのかな？

### 水はどこからやってくる??

# 地球の水循環と大切な雨

雨はどこから来て、どこに行っちゃうのかって考えたことありますか？地上に降った雨や雪は、地面にしみ込んだあと、わき水となって川へとそそぎ、湖や海へと流れていきます。そして、海や地上の水分から一部が蒸発して雲となり、再び雨になって私たちのところへと戻ってくるのです。これを、地球の「水循環」といいます。地球にはこうした大きな水のサイクルがあって、雨はその中でも大切な役割を果たしているんです。私たちが汗をかいたら水を飲むように、地球も雨で水を補給しているんですね。



### 水の惑星・地球

地球に水があるのは奇跡的な確率！

- ・ 太陽系にある9つの惑星と61以上の衛星の中でも、水(液体)があるのは地球だけです。
- ・ 太陽との距離がもう少し近くても水は宇宙へ蒸発してしまうし、もう少し遠くても凍ってしまいます。
- ・ 生命の源であると言われている水。地球も人間も約7割の水でできています。

### 限りある水を守るため、世界は手をつなぎはじめています

台風や大雨のたびに被害を受けてしまう地域、雨が降らず水不足や干ばつに悩む地域…。私たちは雨によるさまざまな問題を抱えています。でも、地上にある膨大な水はほとんどが海水なので、生活に利用できる「水」はたったの0.3%。その源となっているのが、実は陸地に降る雨だったので、地球の水循環の一部である雨は、私

ちが生きていくうえでなくてはならない水を与えてくれるのです。その大切な雨の動きを地球全体でしっかり把握するため、現在、雨の観測を地球規模で行う国際的な取り組み「全球降水観測計画(GPM計画)」を、日本(JAXA/NICT\*)とアメリカ(NASA)が中心となって始めています。

\*NICT：独立行政法人 情報通信研究機構

### 世界で起こっている水の問題を知って何ができるか考えよう！

21世紀は「水の世紀」といわれています。今後、水をとりまく問題は増えてくると予想される中、変わりゆく水の姿を知ることが、水の惑星「地球」を守ることに繋がります。



その他にも、地下水による地盤沈下、水質汚染、酸性雨、温暖化、干ばつなど、深刻な水の問題はたくさんあります。

